

「見える化」しよう

くろべのふくし

フォーラムを通して深める
5 GOALS for 黒部

今後5年間の黒部の福祉をどのように推進していくかを示す「黒部市地域福祉活動計画」を皆さんは知っていますか。見たことがありますか。市民のための計画をほとんどの市民が知らない、見たこともない、難しくて分からない、というのが現状です。

そんな中、黒部の福祉を「見える化」とはどのようなことをテーマに「見える化」しようくろべのふくし」フォーラムが開催されました。

作って 終わりにじゃない

私たち社会福祉協議会(以下、社協)は、市民一人ひとりが「自分たちのまちを自分たちで良くしていく」住民主体のまちづくりの推進を目指しています。しかし、みんなが知らない計画が知らないところで動いていて、策定した後の推進や評価がおろそかになりがちでした。つまり、計画を「作る」ことが目的になってしまい、本来の地域福祉推進という大切な部分が抜け落ちていました。そこから脱却しようと生まれたのが、昨年から動き出した第3次黒部市地域福祉活動計画「5 GOALS for 黒部」です。

みんな目指すゴール

「みんな黒部を良くしよう」と思っている」という大前提は、行政も社協も市民の皆さんも同じだと思っています。だからこそ「みんなどこに向かって、何をを目指すのか?」どうなることが理想なのか?をまず考えること。そして、そのゴールを「見える化」することが大切だと考えました。目指すところが分かれば、自分たちのできることを自分



参加者からの質問に答えるパネラーの皆さん

たちで主体的に行うことができるようになる。また、今黒部はどうなっているのか、地域課題はどんなことがあるのかを「見える化」することは、それぞれが気づき、考え、行動を起こしていくためのきっかけになると考えました。

「なんでみんな分かってくれないのか?」「一緒に活動してくれる仲間が見つからない」という声を、福祉分野で活動する団体からよく聞きます。それは、そういう人がいないのではなく、「知らない」ということが大きな要因です。まずは、ゴールや黒部の課題を「知る」ことが重要と考え、分かりやすく表現した5つのゴールを作っていました。

3  すべての人々に福祉を

2  話すことから始めよう

1  活動人口を増やそう

5 GOALS for 黒部

5  パートナリシップで目標を達成しよう

4  U-40代の力を活かそう

アメリカでの 取り組み

フォーラムでは、アメリカで地域課題の可視化と様々な分野との協働、市民参加のしくみづくりに取り組むCIRC(コミュニケーション・インディケイター・コンソーシアム)事務局長のシャントル・ステイブンさんが、持続可能な地域づくりを目指す上での目標・指標の見える化の必要性について触れながら、「目標の達成度を測るためには指標が必要で、その指標はGDP(国内総生産)や失業率などの大きなもので測ろうとしても想像が付きません。自分たちの地域で話し合い、考え、地域の指標(インディケイター)を持つこと、そして自分たちでチェックすることが大切なのです」と話しました。また、「私たちが私たちがこのことを決めないで」という言葉があり、地域住民が主体的に参画した場づくりの必要性を強調しました。

また、テキサス州オースティンで活動するCAN(コミュニケーション・アドバンスメント・ネットワーク)のラウル・アルバレスさんは、政府機関、非営利団体、福祉、医療機関、教育機関など多様な分野の26団体とパートナーシップを結び地域課題解決に取り組んでいます。「目標や課題の可視化も行いますが、その課題解決を図るためには、私たちの

力だけではできません。それを得意とする組織やすでに取り組んでいる活動とコラボレーションして、時には一緒に解決へ取り組むこともあり。指標は、目指すべき数値目標をわかりやすく示すことができ、今どんな状態なのか？このままだとどうなっていくのか？順調なのか？を知ることができ、PCDA^{※1}を回していくのです」と話します。



ラウル・アルバレスさん

シャンタル・ステューブンさん

社会貢献を「見える化」する

日本でも社会貢献を「見える化」するという新しいしくみが動き出しています。そのしくみ「actcoin(アクトコイン)」^{※2}を開発し、広めようと取り組んでいるソーシャルアクションカンパニー株式会社代表取締役佐藤正隆さんの目指す社会は、世の中にソーシャルアクト(社会貢献に取り組む人)を増やしていくことです。開発したアプリでは、自分の社会貢献活動(ボランティアやその他の学び)に参加した今までの記録が残り、どんな活動に何回参加したか、SDGs^{※3}のどのゴールに貢献したかが見えるようになっていきます。

福祉とは「しあわせ」

参加された皆さんからは、「地域には様々な組織があり、見える化することで福祉の活動を自分たち自身も意識することが大切だと感じた。みんなで共有できるように一緒に考

えて、決めていくことが大事」という声や、「社会貢献の可視化にとっても関心があった。黒部市でも今後この問題を検討し、ボランティアの意欲を支えることが必要だと思った」といった意見が挙がりました。また、「データ化できないもの、目に見えないものもあることを常に忘れず、小さなことを積み重ねていきたい」といった言葉も聞かれました。

ゴールをつくり、データを集めれば地域福祉が良くなるわけではありません。上手く「見える化」と「データ」をツールとして活用していくことが大切なのです。福祉には「しあわせ」という意味があります。みんながしあわせになる地域を目指すこと、形のないものにみんなを取り組んでいくこと、それが地域福祉の推進なのではないでしょうか。

※1 PCDA
Plan(計画)・Do(行動)・Check(確認)・Act(改善)の頭文字を取ったもの。この4つのサイクルを繰り返すことで、継続的に業務を改善する。

※2 actcoin(アクトコイン)
社会貢献活動を可視化するしくみ。

※3 SDGs(エス・ディー・ジーズ)
Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟国193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標。

SDGOALSの詳細はこちら



ふくしスマイルワーカー

福祉に携わる人のお仕事拝見!



スマイル Vol.70

黒部市立さくら幼稚園 幼稚園教諭
さわだ みずき
澤田 瑞希 さん(28歳)

今年やりたいこと
アウトドア、海外旅行



子どもたちを見守り、声をかけながら一緒に過ごします

お仕事についてたきつかけと、やりがいを教えてください。
小学生の頃から小さい子が好きで、憧れていた保育士と幼稚園教諭の資格を取りました。子どもたち一人ひとりを見守り、その子の長所を伸ばすにはどうしたら良いかなどを考えながら関わっています。成長していく姿を見られることや、その喜びを共に味わえることがやりがいです。
今担任をしている5歳児クラスのみんなと、生活発表会に向けてアイデアを出し合い、劇を作り上げた時の感動は忘れられません。卒園していくのは寂しいですが、楽しみにしている学校生活に向けて、笑顔で送り出してあげたいです。

写真レポート



1月30日(木) 荻生の館

食の文化を子どもたちへ伝える
ボランティアグループ「萩の会」指導のもと、荻生小学校5年生が味噌づくりを体験しました。秋まで熟成させ、地区の収穫祭で味噌汁として振る舞われます。



2月3日(月) 内山地区公民館

無病息災と厄除けを祈って
地区の全世帯に呼びかけ、思い思いに恵方巻を巻きました。温かいお澄ましも用意され、参加者は西・南西に向かって黙々と美味しさを噛みしめました。

黒部市福祉センターのお知らせ

[利用時間] 8:30~16:30 [入浴] 10:00~16:00

3月

7日(土) カラオケうた仲間	10:30~
14日(土) 大布施民謡愛好会	10:30~
15日(日) あえの風	10:30~
19日(木) 歌謡パラダイス	10:30~
20日(金) グリーンロード	10:30~
24日(火) #なんでもや~歌謡団b	10:30~
28日(土) こぶしカラオケ愛好会	10:30~

休館日 毎週月曜日(2日・9日・16日・23日・30日)
21日(土)は祝日振替のため休館です。

4月

4日(土) さくらカラオケ	10:30~
5日(日) グリーンロード	10:30~
11日(土) カサブランカ愛好会	10:30~
12日(日) 立山相甚会	10:30~
18日(土) 華の会	10:30~
19日(日) 野菊の会	10:30~
22日(水) 北川歌謡ショー	10:30~
25日(土) 日本海歌謡研究会	10:30~

休館日 毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)
30日(木)は祝日振替のため休館です。

催し物と休館日のご案内



黒部市社会福祉協議会に
寄付をいただきました
ありがとうございました

- 橋場 トモコ 様
- JAくろべ女性部 様
- 黒部市立桜井中学校 様



夏休みに実施したアルミ缶回収の収益金で購入した歩行補助器1台を寄贈頂きました。収益金は、昨年の台風で被災した千葉・長野への義援金、東日本大震災の被災地への支援金、赤い羽根共同募金にも寄付されました。

今月の相談日

民生委員児童委員と 心配ごと相談

予約不要

黒部市福祉センター(金屋464-1)※行政相談員が同席
3月10日(火) 13:30~15:30
黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)
3月12日(木) 13:30~15:30

弁護士と法律相談

予約受付/3月2日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
3月17日(火) 13:30~15:30
★相談内容問わず、年度につき1人3回までのご利用とさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター

生活自立支援相談

予約受付/3月2日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
3月9日(月) 10:00~11:30

活動レポート

田家地区の取り組みから、地域づくりを考えました 第2回小地域福祉活動 くろベミニサミットを開催

12月11日(水) 黒部市ふれあい交流館あこや〜ので、第2回小地域福祉活動くろベミニサミットが開催されました。今回は田家地区の活動にスポットをあて、ボランティア活動や地域の居場所づくり、子どもたちの見守り・支援に携わっている活動者計5名が登場しました。田家地区の取り組みやその工夫を聞き、参加者はこれからの地域の場づくりや活動のあり方、運営の視点やコツなどについて、さまざまな意見と質問を交わし、考えを深めました。



pick up!
活動の「いいね!」や質問を
次々と付箋に書き込む参加者の皆さん

ゆるく、楽しいから続く! 週に1度の健康づくり

大布施公民館の軽運動室で、毎週木曜10時から活動する健康体操サークル。サークル名はなぐ、約20年前から自主的に集まり始め、現在は市内各地区から56名が各自のペースで参加しています。退職後にロコモで通い始めた方も、10年以上通う方も多く、参加者は「先生も楽しいし、気楽な雰囲気がいいのよ」と話します。参加者の希望を取り入れ、体操・ダンス・ヨガ・ストレッチなど多彩な内容で身体を動かします。年1回は講師を招き、助言をもらって活動しています。



pick up!
参加者が交代で
世話をしながら運営しています

今月のクラブ

囲碁・将棋クラブ

金曜日(6日・13日・20日・27日)
※6日・13日は2日間にわたって大会を開催します

元気カラオケクラブ

木曜日(12日・26日)

ポールウォーキング

金曜日(13日・27日)



誕生日のお祝いに
黒部市福祉センターの
入浴券はいかがですか?
11枚綴り 3,000円



2020
3月
Vol.168



【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 令和2年3月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

うなづき [参加費] 150円(入館料のみ)



介護予防通所事業
生き生き倶楽部
黒部市宇奈月老人福祉センターにて
TEL.(0765)65-1820

[時間]9:30~15:00 [対象]65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
1	2 自力整体	3 健康講話	4	5 健康体操B	6 レクリエーション	7
8	9 レクリエーション	10 レクリエーション	11	12 健康講話	13 レクリエーション	14
15	16 健康講話	17 介護予防教室	18 レクリエーション	19 健康体操A	20 春分の日	21
22	23 健康講話	24 健康体操B	25	26 レクリエーション	27 レクリエーション	28
29	30 自力整体	31 レクリエーション	4/1	2	3	4

時間/10:00~ ※■は休館日
健康体操A 杉山 愛子先生 健康体操B 村田 あゆみ先生
介護予防教室 黒部市接骨師会 自力整体 稲田 清美先生
健康講話 3・12・16日:うなづき薬局
23日:池田リハビリテーション病院

くろべ [参加費] 300円(入館料のみ)



介護予防のための
元気はつらつ体操教室
黒部市福祉センターにて
TEL.(0765)54-1082

[時間]10:00~11:00 [対象]65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 音楽療法	4	5 健康体操A	6 自力整体	7
8	9	10 健康体操A	11 自力整体	12 音楽療法	13 音楽療法	14
15	16	17 健康体操B	18 健康体操A	19 自力整体	20 春分の日	21
22	23	24 自力整体	25 音楽療法	26 健康体操B	27	28
29	30	31	4/1	2	3	4

時間/10:00~ ※■は休館日
健康体操A 樋口 瞬先生 健康体操B 炭田 亮子先生
音楽療法 岡島 聡子先生 自力整体 稲田 清美先生



気軽なウォーキングで健康を保ちましょう!

歩くことは日常生活の基本です。
1日数回10分程度歩くことで心臓や肺、血管などの機能が向上し、足腰も丈夫になります。歩く時は、歩幅を大きくとり、早足で歩くことにより効果がアップします。
意識的に「1,2,1,2」と早めのリズムをとり、無理のない程度に歩いてみましょう。

お問い合わせは黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL.(0765)65-1820 担当:徳光まで



今月の表紙

通い慣れた通学路も、着慣れた制服も、気が付けば残りわずか。仲のいい友人たちとの時間を惜しむように、話に花を咲かせます。この春、県外へと羽ばたく彼女たちは、これからどんな道を歩んでいくのでしょうか。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 **黒部市社会福祉協議会**

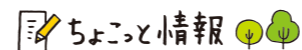
<http://www.kurobesw.com/>

本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内

〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp



【黒部市の人口】41,646人 [65歳以上の人口] 12,835人 高齢化率 31.1% R2.1.31 現在